

# 群馬が生んだ人と企業



堀口 靖之 社長

創業は江戸時代初期にまで遡る。1629年(寛永6年)に開業し、400年近くの「店蔵記念館」は国の登録有形文化財に指定され、趣深く同社の歩みと伝統を物語ついている。

やかで幕末を迎える頃には庶民の間に鉄製品が普及し始め、時代の変化を素早く捉えた同社は農機具や工具、家庭金物などの販売を開始。明治・大正・昭和初期に現事業の礎を築き上げ、いまや同社は鋼材や鉄筋、セメントなどの販売、さらには加工や施工も行う建設資材の総合商社として独自の地位を確立している

の中から求める製品をいち早く取り入れることで勝ち残つてきました。在宅医療の市場拡大を受け、医療用酸素の販売事業は順調に業績を伸ばしています」と、成長分野への手応えを口にする堀口社長。1995年から始まつた携帯電話販売店も地元住民の確かな信頼を集め、同社を中心として11社から成るホリグ

「富貴の湯」は、一般客にも至極の癒しを提供している。「企業が水統的に発展するためには、利益追求と社会性を両立させることが大切です。お客様一人ひとりに喜ばれるサービスを提供し、従業員にも当社の鋼材・建

本社テレタ  
会社テレタ  
群馬県渋川市半田2  
420  
0279-22-2525

創業＝1962年  
資本金＝4,000万円  
従業員数＝約350名（グ  
ループ全体）  
事業内容＝建設資材の総合  
商社及び携帯電話販売店など  
<http://www.horiguchi.co.jp>

A

本列島の一へそに位置する群馬県渋川

に養蚕も行つていました。

のだ。  
また、第一次世界大戦後

ホリウチ

登録

380余年の歴史を歩むレジエンド企業  
進化と挑戦を続ける建設資材の総合商社

ホリグチ

(群馬)



## 多角的な事業の起點となる本社外観



登録有形文化財の「店蔵記念館」(日本社)



同社先祖が発行した  
「上州鉛銭」